

新型コロナウイルス感染症 感染予防対策マニュアル新旧対照表

(R2.5.21 改訂)

新	旧	備考欄
<p>1 生徒の健康観察等について</p> <p>(1) 登校前検温及び健康観察を徹底する。 →【家庭へのお願い】…保健だよりや学校だより等で機会あるごとに啓発を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><u>①発熱等の風邪症状が見られる場合は、登校を控えさせる。</u> *発熱等…平熱より著しく体温が高い場合</p> </div> <p>(略)</p> <p>「欠席生徒の対応」 ○発熱等で欠席した生徒及び学校で発熱した生徒への対応</p> <p>(略)</p> <p>②次の症状がある場合は、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを目安に<u>すぐに</u>「帰国者・接触者相談センター」<u>やかかりつけ医療機関等に電話などで</u>相談するように、家庭に指導する。</p>	<p>1 生徒の健康観察等について</p> <p>(1) 登校前検温及び健康観察を徹底する。 →【家庭へのお願い】…保健だよりや学校だより等で機会あるごとに啓発を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><u>①37.5℃以上の発熱がある場合は、登校を控えさせる。</u> <u>②37.5℃までの発熱がない場合でも、ひどい咳き込み症状やのどの痛みなどの強い風症状、極度の倦怠感がある場合は登校を控えさせる。</u></p> </div> <p>(略)</p> <p>「欠席生徒の対応」 ○発熱等で欠席した生徒及び学校で発熱した生徒への対応</p> <p>(略)</p> <p>②次の症状がある場合は、Ⅰ、Ⅱを目安に「帰国者・接触者相談センター」に相談するように、家庭に指導する。</p>	<p>(変更)</p> <p>(略)</p> <p>(略)</p> <p>(追加)</p>

<p><u>I 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合</u></p> <p><u>II 重症化しやすい生徒で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある場合</u></p> <p><u>III 上記以外で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合</u> <u>* 症状が4日以上続く場合は必ず相談するよう指導する。症状には個人差があるので、強い症状と思う場合はすぐに相談するよう指導すること、解熱剤などを飲み続けなければならないときも同様の扱いとする。</u></p>	<p><u>I 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。（解熱剤を飲み続けなければならないときを含む）</u></p> <p><u>II 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。</u> <u>* 基礎疾患等のある生徒は、上の状態が2日程度続く場合</u></p>	(変更)
<p>○発熱はないが、保護者から心配なので休ませたいと申し出があった生徒への対応</p>	<p>○発熱はないが、保護者から心配なので休ませたいと申し出があった生徒への対応</p>	(略)
<p>(略)</p> <p>②<現段階の対応> 現段階（<u>5/18現在</u>）での判断で<u>6/1からの学校再開時においては</u>、「事故欠（感染症予防）」扱いの欠席とする。ただし、現在学校で行っている新型コロナウイルス感染症予防対策について十分な説明を行う。その上で欠席させるかどうかは保護者の判断に委ねる。</p>	<p>(略)</p> <p>②<現段階の対応> 現段階（<u>4/13現在</u>）「事故欠（感染症予防）」扱いの欠席とする。ただし、現在学校で行っている新型コロナウイルス感染症予防対策について十分な説明を行う。その上で欠席させるかどうかは保護者の判断に委ねる。</p>	(変更)
<p>(略)</p> <p>(3) 家庭で体温や健康状態を確認できなかった生徒の対応については以下のとおり。</p>	<p>(略)</p> <p>(3) 家庭で体温や健康状態を確認できなかった生徒の対応については以下のとおり。</p>	(略)
<p>(略)</p> <p>②<u>発熱等の風邪症状が見られる</u>場合は、保護者に連絡し自宅で休養させる。</p>	<p>(略)</p> <p>②<u>体温が37.5℃以上か、仮に37.5℃以上の体温がなくとも、ひどい咳き込み症状やのどの痛みなどの強い風邪症状、極度の倦怠感がある</u>場合は、保護者に連絡し自宅で休養させる。</p>	(略)
		(変更)

<p>(略)</p> <p>3 教室内の換気及び授業中のグループ活動等の配慮について</p> <p>(1) 休み時間ごとに、教室内すべての窓とドアを開け、空気の流れをつくり換気を行う。 *移動教室の際には、教室のドアを開けたままにし、かつ窓を少し開けておく。</p> <p><u>(2) 気候上可能な限り、授業中においてもできるだけ窓をかけたおくようにする。ただし、その際広く開ける必要はなく、適度の広さでかまわない。</u></p> <p><u>(3) 換気をすれば十分な感染予防ができるということではないため、あわせて、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策の徹底を図る。</u></p> <p><u>(4) 教員は授業では比較的大きな声を出さざるを得ないので、マスクを着用して授業を行うことを基本とする。</u></p> <p><u>(5) 教室内では座席間の距離を確保するのは限界があるので、生徒も基本的にはマスクを着用して授業を受けることとする。特にグループ活動をする際には、飛沫を飛ばさないようマスクの装着に気を配るようにする。</u></p> <p><u>(6) 体育の授業については、授業開始前に十分性との健康観察を行う。</u> 野外においては生徒同士の間には十分な距離をとれる場合は、マスクの着用は不要と考えられるが、生徒同士の間には十分な距離がとれない場合は、マスクを着用させる。</p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>3 教室内の換気及び授業中のグループ活動等の配慮について</p> <p>(1) 休み時間ごとに、教室内すべての窓とドアを開け、空気の流れをつくり換気を行う。 *移動教室の際には、教室のドアを開けたままにし、かつ窓を少し開けておく。</p> <p><u>(2) 換気をすれば十分な感染予防ができるということではないため、あわせて、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策の徹底を図る。</u></p> <p><u>(3) 教員は授業では比較的大きな声を出さざるを得ないので、マスクを着用して授業を行うことを基本とする。</u></p> <p><u>(4) 教室内では座席間の距離を確保するのは限界があるので、生徒も基本的にはマスクを着用して授業を受けることとする。特にグループ活動をする際には、飛沫を飛ばさないようマスクの装着に気を配るようにする。</u></p> <p><u>(5) 体育の授業については、授業開始前に十分性との健康観察を行う。</u> 野外においては生徒同士の間には十分な距離をとれる場合は、マスクの着用は不要と考えられるが、生徒同士の間には十分な距離がとれない場合は、マスクを着用させる。</p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(略)</p>
--	--	---

